



大久野の新井薬師堂には日の出町で一番古い仏さまがあります。

新井の薬師さまとして古くから親しまれている、大久野の新井にある新井薬師堂の『木造薬師如来坐像』は、昭和53年(1978)に町の有形文化財(彫刻)に指定されました。

木造薬師如来坐像は、平安時代の優美な藤原様式を基調にしなが、顔立ちに奥行きがある鎌倉時代のきざしが感じられる仏像です。作られた時代は、鎌倉時代の初期といわれ、日の出町で最も古い仏像であると考えられています。



木造薬師如来坐像

お堂には他にも数体の仏像が安置されていて、その配置に目を向けると、薬師さまを中心に、室町時代後期の作といわれる木造の日光菩薩立像と月光菩薩立像が脇侍として両脇に並んでいます。この3体が並ぶ姿を、仏教彫刻では三尊形式と言ひ、薬師如来を中心としたものを薬師三尊と呼んでいます。他にも、鎌倉時代後期の作とされる木造の阿弥陀如来立像と脇侍の観音菩薩立像、勢至菩薩立像から成る阿弥陀三尊が安置されています。



新井薬師堂の中の様子(中央が薬師三尊、左が阿弥陀三尊)

新井薬師堂について、19世紀の前半に編纂された新編武蔵風土記稿には「相伝ふ昔この所の北の方なる山上に一宇の寺ありしが、いつの頃か廃寺となりし時、其山門にありし薬師をここにうつして安置」と記されています。薬師堂は、江戸時代の前期、元禄6年(1693)に初造営されたと云われており、この頃に廃寺となった寺の薬師さまを移したようです。

薬師さまは、正式な名を東方薬師瑠璃光如来といい、現世での安らぎを与えてくれる仏さまです。またの名を大医王仏といい、体の病気の治療だけでなく、心の苦痛

までも取り除いてくれる万能なお医者さまとされています。薬師像には薬壺くすりつぼを持ったものが多く、新井の薬師さまも両手をひざの前に置いて薬壺印を結んだ手の中に薬壺があります。

新井の薬師さまは、古くから地元の人に目の仏さまとして信仰を集めていて、お堂の中に奉納されている絵馬には鏡文字の「め」が書かれています。また、過去に4回もの盗難被害に遭っているにもかかわらず、毎回無事にお堂に戻ってくるという不思議な力をもっています。



新井薬師堂

毎年秋には新井薬師の祭礼があり、地域の皆さんによるお囃子などが奉納されます。また、都道沿いの薬師さまの看板の前では、農産物や手芸・木工品などを販売する物産展も開催されます。

..... アクセス

新井薬師堂へは「新井」バス停下車すぐです。大きな新井薬師の看板が目印です。



..... 日の出WALK (観光マップ) 【G-4】

